



シクラメンの管理方法



信州大学農学部附属農場

1 置き場所

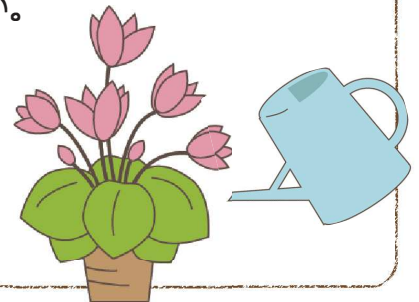
日光の当たる窓ぎわが最適です。暖房の効いた部屋は気温が高く、花が長持ちしません。玄関や廊下などがお勧めです。

日光の当たらない場所に置く場合、暖かい昼間などに移動させて、日光を当ててあげるとよく花が咲きます。

昼間の気温は15℃以下、夜間は5℃以上が望ましい温度です。夜温が2～3℃以下になると凍害を受けますので、寒い日はダンボール箱をかぶせるなどして保温して下さい。

2 底面給水鉢の水やり

常に受け皿の水をきらさないように補給して下さい。
もし乾いてしまったら受け皿へ給水するほか、球根に水をかけないようにしながら土の部分にもかけて下さい。

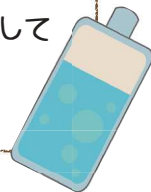


3 肥料

鉢には肥料が入っているので、すぐ施す必要はありません。

12月頃から、次のいずれかの方法で肥料を施して下さい。

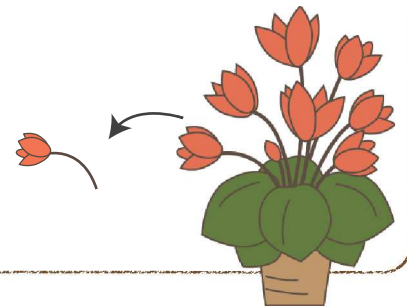
- 1) 10日に1回位、ハイポネックスなどの液体肥料を1000倍に薄めて灌水して下さい。
- 2) 錠剤タイプの置き肥なら2か月に1回が目安です。施す量は普通の鉢花の半量程度にして下さい。



4 枯れ葉などの摘みとり

咲き終わった花や枯れた葉は株元からこまめに抜いて下さい。

葉の表面の汚れやホコリは柔らかい布で拭き取るか、軽く水洗いをして下さい。



5 来年も咲かせるには・・・夏越しがポイント

- 1) **休眠させないで咲かせる方法**：5月までは日当りの良い所におき、その後は半日陰に移します。枯れ葉などをこまめに取り除いて下さい。
灌水は土が湿らないように行い、液体肥料の1000倍液を月に1回ほど与えて下さい。
- 2) **休眠させて咲かせる方法**：花が終わったら灌水を少しずつ減らして下さい。すると葉や茎が枯れて、球根は休眠に入りますので、鉢のまま涼しい所に移して下さい。
8月末頃になったら枯れ葉や茎を全部取り除き、灌水を始めて下さい。
- 3) **植え替え**：上記のいずれの場合も、9月中旬頃になったらひとまわり大きな鉢に植え替えて下さい。
植え替えに用いる土は、市販の草花・鉢植え用の培養土で構いません。元肥として緩効性肥料を土1リットル当たり5g程度混合して下さい。